

## 「沼田ならではの新たな教育スタイル」沼田町一貫・連携教育 一貫・連携教育（第2期）～今後の3年間を見据えて～



平成25年度からの3年計画が本年度を以て終了します。この間、新たな取り組みに対しての意識付けと体制づくり、学校や家庭での実践等を順次進めて参りました。

その結果、関係者には一貫・連携教育の確かな手応えと次へ向けての期待

感が広がって来ています。沼田町一貫・連携協議会は、11月25日、親学セミナーにおいて、幼・小・中の保護者を対象に、次の4つの方針【一貫・連携教育（第2期）～今後の3年間を見据えて～】を説明しました。

【1】小中9年間を見通した教育課程を整理した上で、系統性を意識した効果的な小中交流授業（乗り入れ授業や合同授業等）を展開します。

- ①小中9年間を見通した教育課程（指導計画）を、さらに整理して指導に生かします。
- ②小中交流授業を進め、さらに互いをつなぐ教育活動を行います。
- ③認定こども園の短期保育の中で今までの幼稚園教育の取り組みを継続して進めます

【2】沼田町の地域性を踏まえた幼小中に亘る独自教科（ふるさと科、英会話科）を設定します。

### ①ふるさと科

雪・ホタル・化石や豊かな田園風景に代表される自然や夜高あんどん等の、学習素材に恵まれた沼田町において、現在行われている「総合的な学習の時間」は沼田ならではの教育活動です。「総合的な学習の時間」を基盤に、さらに小中の系統性（つながり）と横断的な教育（教科や道徳、特別活動、行事等も含めて）を通して幼・小・中の育ちを目指します。

### ②英会話科

国際化社会、グローバル化（世界化）といわれる中で、国や人種を越えた交流や活動が一層促進され、外国語の活用は時代のニーズと言えます。自立した社会生活を送る上でも重要性を増してきており、21世紀を生きる「沼田っ子」の英会話力を育てます。

【3】実践と継続を確かなものにするための体制づくりとして、小中の「学園化」を進めます。

併せて、地域と連携し、「共に育てる」「共に育つ」「共育（きょういく）」を進める体制づくりを検討します。一貫・連携教育の第2期をさらに進めていくための体制「沼田学園」には、次の効果が期待できます。

- ①従来、小学校6年間・中学校3年間と区別して行ってきた子ども達への教育を、小・中学校教員や保護者・町民は、義務教育9年間を通して行うという視点をもつことが期待できます。
- ②子ども達は、自己の成長を義務教育9年間の積み重ねという長期的な展望をもって考えることが期待できます。
- ③小・中学校教員は、沼田学園の教員であるという意識をもつことにより、一貫・連携教育に取り組む心を一つにすることが期待できます。

【4】最終的には国の制度に基づく一貫教育学校（小中一貫型等）を目指します。

- ①免許制度等、現段階では国の動向を注視していきます。

これらについては、順次実施し、平成30年4月の完全実施を目指します。地域の宝「沼田っ子」のより良い未来のために、町民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします